

熱中症対策について

令和5年5月
多治見市教育委員会



★市内各小中学校にあっては、熱中症対策を下の「表3-1」を参考に、右の「対応1～2」に示すように行っていただくようお願いします。

熱中症環境保健マニュアル2018（環境省）

これで判断！

表3-1 熱中症予防のための運動指針

暑さ指数 (WBGT) (℃)	湿球温度 (℃)	乾球温度 (℃)	熱中症予防のための運動指針	
31	27	35	運動は 原則中止	特別の場合以外は中止。 特に、子どもの場合は中止すべき。
28	24	31	嚴重警戒 激しい運動中止	激しい運動・持久走は避ける。積極的に休息をとり、水分補給。体力のない者、暑さに慣れていない者は運動中止。
25	21	28	警 戒 積極的に休憩	積極的に休息をとり、水分補給。激しい運動では、30分おきぐらいに休息。
21	18	24	注 意 積極的に水分補給	死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意。運動の合間に水分補給。
			ほぼ安全 適宜水分補給	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分補給を行う。市民マラソン等ではこの条件でも要注意。

(日本体育協会、2013)

- 1) 環境条件の評価には暑さ指数(WBGT)が望ましい。
- 2) 乾球温度を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。

★急に暑くなった日や活動の初日などは特に注意！
★汗をかいた時には塩分補給も忘れずに！
★異状を感じたら、
すぐに休ませ体を冷やし、水分補給
★呼びかけに対し返事がおかしい、意識がない時は
躊躇することなく救急車を要請し、病院へ搬送

【対応2】

- ①「WBGTが31℃」以上に！
●特別な場合以外は原則中止！
- ②「WBGTが33℃」以上に！
●運動・屋外活動は 中止！
※活動場所で測定！

対応2

3つのチェックポイント！

- ①足の動きや運び ②目の焦点
③簡単な問いかけ(質問)への反応

- 各活動内容や場所、天候・気温・湿度に留意し、児童生徒の健康状態を把握し、積極的に、水分補給、休息をとるなどの対応を継続して行う。

- 校内へ情報を周知し、気温上昇に留意する！
(児童生徒、職員へ情報を伝え、適切な気温測定をする。)
- さらに一人一人をよく見届け、水分補給、休息等の対応をする！
(職員が指示をして必ず上記対応をする。)

熱中症警戒アラート発表！

- WBGTが33℃を超えると予測された日に発表される
- 午前10時 防災無線&メールにて周知

対応1